令和９年度　推薦入学者選抜・一般入学者選抜
帰国生徒等特別入学者選抜

生徒募集要項

普通科・音楽科・美術科

目　　次

松陽高校スクール・ミッションと３つのポリシー …… 1
1　募集定員 …… 2
2　出願資格 …… 2
3　選抜の方法 …… 4
4　実技等の検査内容 …… 5
普通科 …… 5
音楽科 …… 6
美術科 …… 9
音楽科別表（楽譜） …… 10
5　入学までの手続き …… 15
(1) 中学校の先生方へのお願い …… 15
(2) 推薦入学者選抜出願時の留意点 …… 15
(3) 推薦入学者選抜の結果の通知およびその後の手続き …… 16
(4) 推薦入学者選抜で不合格となった場合の再受検手続き …… 16
(5) 一般入学者選抜出願時の留意点 …… 17
(6) 出願変更の手続き …… 18
(7) 合格発表及びその後の日程等 …… 18
6　入学願書の記入要領 …… 19
7　選抜当日の留意事項 …… 20

出願書類等請求用紙 …… 21
楽譜表紙 …… 22

鹿児島県立松陽高等学校

松陽高等学校　スクール・ミッションと３つのポリシー

【設置学科(コース)】

松陽高等学校には普通科と音楽科と美術科があります。普通科の２年次からは５つのコース(文科・理科・体育・英語・書道)が設置されています。

１　スクール・ミッション(社会的役割)

高校教育の新しいあり方を求め、研究・実践する先進校として、県内唯一の音楽科・美術科と、普通科には体育・英語・書道等の５つのコースを設置し、生徒の可能性を最大限に伸ばし、地域や社会の発展に貢献できる創造性豊かで実践力のある人材を育成します。

２　スクール・ポリシー

○　グラデュエーション・ポリシー(ＧＰ)

松陽高校を卒業するまでに、生徒には次のような資質・能力を育みます。

(1)　自分のもつ可能性を信じ、主体的に学び続け、人生を前向きに開拓できる生徒を育成します。

(2)　多様な価値観を認め合い、予測困難な社会の諸問題に協働して柔軟に対応できる生徒を育成します。

(3)　生涯にわたり芸術文化を愛好する心情と感性を持ち、その継承と創造に貢献できる生徒を育成します。

○　カリキュラム・ポリシー(ＣＰ)

ＡＰを有する生徒達が松陽高校に入学し、ＧＰで示した生徒へと育成していくために、松陽高校では、ＣＰでこのような学びを行います。

(1)　全教科を通して身に付けた資質や能力を生かして、仲間との協働やＩＣＴ機器を活用して課題・探究型学習に取り組みます。【普通科・文科コース・理科コース】

(2)　各競技の専門の先生による実技指導や講義、ゴルフ実習やスポーツに関する研究・発表を通して、専門的な知識や技能の習得に取り組みます。【体育コース】

(3)　漢字・仮名・漢字仮名交じり書の学びや書道理論や書道史などの書道専門科目を通して自ら考え作品制作を行う書の表現活動に取り組みます。【書道コース】

(4)　プレゼンテーション活動、ＡＬＴや他の生徒とのディスカッション、語学研修等を通して、英語によるコミュニケーション能力の育成に取り組みます。【英語コース】

(5)　専門の先生による個人指導やレッスン、舞台経験や招聘講座、研修旅行を通じて専門的な知識や技能の習得や演奏活動に取り組みます。【音楽科】

(6)　大学教授や美術作家等の専門家による講座や指導、研修旅行や風景画合宿、芸術鑑賞会等を通じて、美術の幅広い創作活動に取り組みます。【美術科】

○　アドミッション・ポリシー(ＡＰ)

松陽高校では次のような生徒を求めています。

(1)　本校への入学を強く希望し、明確な目的意識をもっている生徒

(2)　文武両道を目指し、謙虚に学ぶ姿勢をもち、努力し続ける生徒

(3)　相手の立場を受け入れつつ、他者と協力し合って行動できる生徒

(4)　好奇心を大切にし、社会に興味・関心をもつことができる生徒

(5)　芸術文化に関心をもった、創造性豊かで実践力のある生徒

1 募集定員

（1）令和９年度募集定員・学区

ア　令和９年度募集定員は、次のとおりです。
普通科２４０人　　音楽科４０人　　美術科４０人

イ　学区

① 普通科は鹿児島学区です。その他の学区からの入学者の割合は普通科募集定員の１０％以内（２４人以内）となります。

② 音楽科・美術科は全県学区です。

（2）推薦入学者選抜

ア　普通科：募集定員の１００分の３０以内（７２人以内）

① コース推薦（体育コース・書道コース・英語コース）：募集定員の１００分の２０以内（４８人以内）

② 一般推薦：募集定員の１００分の１０以内（２４人以内）

<注> 鹿児島学区以外からの推薦入学者選抜での入学予定者の割合は、普通科の募集定員の１００分の３程度（７人程度）です。

イ　音楽科：募集定員の１００分の７５以内（３０人以内）

ウ　美術科：募集定員の１００分の７５以内（３０人以内）

（3）帰国生徒等特別入学者選抜

若干名

2 出願資格

※　本校では、すべての入学者選抜において、前ページにありますアドミッション・ポリシーに記載されているような生徒を求めています。

（1）推薦入学者選抜

令和９年３月に中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程又は特別支援学校の中等部（以下「中学校」という。）を卒業又は修了（以下「卒業」という。）する見込みの者で、次の各項に該当する者とします。ただし、自己推薦方式については、中学校を卒業した者、音楽科・美術科については、県外の中学校を卒業見込みの者、又は卒業した者の出願も可能です。

（学校推薦・自己推薦共通）

ア　本校のアドミッション・ポリシーを理解し、明確な目標をもって本校における学びに取り組む強い意志が認められる者

イ　当該学科・コースを志願する動機や理由が適切であり、入学する意思が確実であると認められる者

ウ　当該学科・コースに対する適性及び興味・関心を有する者

エ　当該学科・コースの教育を受けるにふさわしい学業成績である者

オ　普通科のコース推薦の志願においては、志願するコース（体育コース・書道コース・英語コース）を２・３年次に選択する意思がある者

<注> 体育コース志願者については、運動技能検査（５ページ課題(2)参照）で選択した種目に入学後も本校部活動で継続して取り組む意思があることが必要です。また、書道コース志願者についても、課外活動への参加も含めて、入学後も書道に取り組む意思のあることが必要です。

カ　音楽科の志願においては、専攻別実技検査で選択した専攻に入学後も継続して取り組む意思がある者

キ　美術科の志願においては、課外活動への参加も含めて、入学後も美術に取り組む意思がある者

※　楠隼高等学校入学者選抜に出願した者は、本校の推薦入学者選抜に出願することはできません。

出願資格として３学科とも、中学校ごとの推薦人数枠、評定、受賞歴の有無・内容に関する基準は特に設けていません。
もし、調査書に受賞歴や競技歴等を記入する場合、名称等は正確に記入してください。

共通

（学校推薦方式）

※　学校推薦方式は全ての学科で実施します。

ア　在学する中学校の校長が推薦する者

イ　普通科の一般推薦の志願においては、生徒会活動、スポーツ活動、文化活動、奉仕活動等の中のいずれかにおいて優れた資質や実績を有する者又は特定の教科において優れた能力を有する者

（自己推薦方式）

※　自己推薦方式は、普通科コース推薦、音楽科、美術科で実施します。（普通科一般推薦では実施しませんのでご注意ください）

ア　普通科英語コース志願者については、実用英語技能検定準２級以上の資格（またはそれに相当する資格）を取得している者（入学願書に取得資格を記載し、証明する書類のコピーを添付すること）

（２）　一般入学者選抜

次のいずれかに該当する者とします。

ア　令和９年３月に中学校を卒業する見込みの者

イ　中学校を卒業した者

ウ　学校教育法施行規則第 95 条に該当する者

（３）　帰国生徒等特別入学者選抜

「令和９年度鹿児島県公立高等学校入学者選抜実施要綱」を参照してください。

（４）　第二次入学者選抜について

第一次入学者選抜の合格者数が募集定員に満たない学科において、県の実施要綱により実施します。

出願資格、選抜の方法については、県の実施要綱に基づきますが、詳細は本校まで問い合わせてください。

3　選抜の方法

	募集する学科 コース・専攻	検査期日	選　抜　の　方　法
推薦入学者選抜	普通科　コース推薦 体育コース 書道コース 英語コース 一般推薦 音楽科　声楽専攻 ピアノ専攻 管弦打楽器専攻 作曲専攻 美術科	令和９年 **２月２日** （火）	（1）調査書・推薦書・志望理由書等の記録 （2）作文（英語コース、一般推薦、美術科のみ）、実技等検査（一般推薦は除く） 詳細は５～９ページ参照 （3）個人面接（５分程度） 選抜は(1)～(3)を総合的に判定して行う。
一般入学者選抜	普通科 （コース別の募集は行わない。） 音楽科　声楽専攻 ピアノ専攻 管弦打楽器専攻 作曲専攻 美術科	令和９年 **３月３日** （水） **３月４日** （木）	（1）調査書等の記録 （2）学力検査 １日目（国語・理科・英語） ２日目（社会・数学） （3）５人程度の集団面接（２日目午後）（１班 10 分程度） （4）音楽科・美術科は実技検査（面接終了後） 選抜は、普通科においては(1)～(3)を、音楽科、美術科においては(1)～(4)を総合的に判定して行う。 **普通科を受検する場合は、音楽科又は美術科を第２希望として併願することができる。ただし、併願する学科の実技検査を受けなければならない。** **音楽科・美術科を受検する場合は、普通科を第２希望として併願することができる。**
帰国生徒等特別入学者選抜	普通科 （コース別の募集は行わない。） 音楽科 各専攻 美術科	令和９年 **２月２日** （火）	（1）　調査書等の記録 （2）　普通科：個人面接（５分程度）・作文 音楽科：個人面接（５分程度）・実技・作文 美術科：個人面接（５分程度）・実技・作文 事務上の手続及び選抜課題の詳細は本校まで問い合わせること。 選抜は(1)、(2)を総合的に判定して行う。

本人に帰責されないやむを得ない身体・健康上の理由（新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の感染症、月経随伴症等の体調不良等）により受検できなかった入学志願者に対しては、所定の手続きを行うことにより、３月９日に追加の選抜を実施しますので、「令和９年度鹿児島県公立高等学校入学者選抜実施要綱」を参照してください。

普通科

4　実技等の検査内容

普通科（推薦入学者選抜）

コース・一般	実 技 等 検 査 内 容	携 行 品 等
体育コース	課題(1) 基礎運動能力検査 ア　次の全種目は、選抜当日に実施。 バランス・ディスク、第２ラジオ体操 イ　次の全種目は、出願時に「結果表※の写し」を提出。 ５０m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ ※中学２年次及び３年次に実施した体力テスト結果表。ただし、けが及び病気等の理由で３種目とも未実施の場合は、１カ年分の結果表。 課題(2) 運動技能検査 次の種目のうちから、受検者が選択した１種目について種目別検査を実施する。 陸上競技、剣道、サッカー、野球※、 女子バレーボール、バスケットボール ※野球を選択した場合は、ソフトボールの検査を実施	□　運動服 課題(1)については、中学校指定の体育服(Ｔシャツ・短パン・上下ジャージ) 課題(2)については、必要に応じて､各種目に適した服装とする。 □　運動靴 体育館用とグラウンド用の２足を用意すること。 □　選択する種目に必要な用具・服装 （例）スパイクシューズ･グラブ・剣道防具
書道コース	課題(1) 楷書検査（検査時間　５０分） ア　用紙は半紙を使用。 イ　当日与えられた字句を楷書で書く。 課題(2) 行書検査（検査時間　５０分） ア　用紙は半紙を使用。 イ　当日与えられた字句を行書で書く。 ※課題はいずれも４～５文字程度とする。	□　書道用具一式 ・大筆(半紙用)、小筆(半紙用) ・墨液　・文鎮 ・下敷 ・硯（墨池でも可） ・練習用紙（半紙） ・新聞紙数枚 ※検査に用いる提出用の用紙は当日配付する。
英語コース	課題(1)　作文（検査時間　５０分） 課題(2)　口頭試問 （次のア・イ合わせて１人１５分程度） ア　身近で簡単なことについて、初歩的な英語を用いた問いに英語で答える。 イ　１５０語程度の英文を黙読した後、音読する。さらに、その内容について英語で口頭試問を行う。	□　筆記用具
一　般	課題　作文（検査時間　５０分）	□　筆記用具

※　体育コース志願者への注意

課題(2) 運動技能検査について選択した種目を、推薦入学者選抜用入学願書の所定の欄に記入してください。

なお、課題(2) 運動技能検査で選択する種目は、入学後も本校部活動に継続して取り組む意思がある種目とします。

音楽科（推薦入学者選抜、一般入学者選抜）

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>推薦入学者選抜検査内容</th><th>一般入学者選抜検査内容</th></tr>
<tr><td colspan="2">共通課題</td><td colspan="2">課題　コールユーブンゲン（大阪開成館発行）の中から、
下記５曲のうち当日指定した１曲を階名で歌う。
No.26(d)　No.29(a)　No.31(b)　No.33(b)　No.35(b)
（注）・基礎的な能力（リズム感・音程感）をみるもので歌唱力を問うものではない。
・検査の際は、指定する課題の楽譜を用意するのでそれを見て歌うこととする。
・各自で開始音のみをピアノで確認してから歌い始める。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">専攻別課題</td><td>声楽</td><td>課題(1)「サンタ　ルチア（日本語でも原語でも可）」又は「夏の思い出」より選曲し、歌う。
（暗譜。一番のみ。伴奏は本校職員が行う。）
課題(2) 受検者が選択した任意の日本歌曲又はイタリア歌曲を１曲歌う。
（暗譜。伴奏は本校職員が行う。）
（注） 課題についての調性は任意とする。（提出した楽譜によって、本校職員が伴奏する。）</td><td>受検者が選択した任意の日本歌曲又はイタリア歌曲を１曲歌う。（暗譜。伴奏は本校職員が行う。）</td></tr>
<tr><td>ピアノ</td><td>課題(1) 下記の調の中から、当日指定した調の音階を演奏する。演奏の方法は、全訳ハノンピアノ教本（全音楽譜出版社発行）の 39 番「音階」によるものとし、カデンツまで演奏する。
ハ長調、ニ長調、ヘ長調、ト長調、変ロ長調
（暗譜。繰り返しなし。）
課題(2) 下記の作曲家のピアノ曲の中から、受検者が選択した任意の曲を１曲演奏する。（暗譜。繰り返しなし。ソナタを演奏する場合は緩徐楽章を除く第１楽章又は終楽章とする。）
バッハ、ハイドン、モーツァルト、ベートーベン、シューベルト、メンデルスゾーン、ショパン、シューマン、リスト、ブラームス</td><td>下記の作曲家のピアノ曲の中から、受検者が選択した任意の曲を１曲演奏する。
（暗譜。繰り返しなし。ソナタを演奏する場合は緩徐楽章を除く第１楽章又は終楽章とする。）</td></tr>
</table>

音楽科

			推薦入学者選抜検査内容	一般入学者選抜検査内容
専攻別課題	管弦打楽器	管弦楽器	受検できる楽器は以下の楽器とする。　（推薦入学者選抜・一般入学者選抜共通） フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ、クラシックギター （注）　クラリネットはＢ♭、サクソフォンはアルトのみとする。 課題(1)　各楽器別に別表（10～13 ページ）に示した課題を演奏する。(同じ課題を当日も配付する。見ながら演奏してもよい。) （注）　課題に指定したテンポは一応の目安であり、限定するものではない。 課題(2)　受検者が選択した任意の曲又は練習曲を１曲演奏する。(暗譜。繰り返しなし。伴奏はなし。)	受検者が選択した任意の曲又は練習曲を１曲演奏する。 （暗譜。繰り返しなし。伴奏はなし。）
		打楽器	課題(1)　下記の２つの課題を演奏する。 ア　小太鼓についての課題 別表（14 ページ）に示した課題を演奏する。 （同じ課題を当日も配付する。見ながら演奏してもよい。） (注)・小太鼓の響き線はオフにする。 イ　マリンバについての課題 別表(14 ページ)に示した課題を演奏する。 （同じ課題を当日も配付する。見ながら演奏してもよい。） 課題(2)　受検者は小太鼓かマリンバのいずれかを選択し、その楽器の任意の曲又は練習曲を１曲演奏する。(暗譜。繰り返しなし。伴奏はなし。) （注）　小太鼓を選択して演奏する場合の響き線は、オン、オフのどちらでもかまわない。	受検者は小太鼓かマリンバのいずれかを選択し、その楽器の任意の曲又は練習曲を１曲演奏する。 (暗譜。繰り返しなし。伴奏はなし。)
	作曲		課題(1)　当日与えられたテーマをもとにピアノ曲を作曲し、作品を提出する。(検査時間 60 分。ピアノの使用を認める。提出用の五線譜は当日配付する。テーマ例を別表（14 ページ）に示す。 課題(2)　二声のインヴェンション（バッハ作曲）の中から受検者が選択した任意の１曲をピアノで演奏する。(暗譜)	当日与えられたテーマをもとにピアノ曲を作曲し、作品を提出する。また、当日作曲した曲をピアノ演奏する。(検査時間 60 分。ピアノの使用を認める。提出用の五線譜は当日配付する。テーマ例を別表（14 ページ）に示す。)

※　音楽科志願者への注意

（1）入学願書への記入事項及び楽譜の提出について

ア　受検者は、受検の際に選択する専攻を声楽・ピアノ・管弦打楽器・作曲から１つ選び、入学願書の専攻欄にある志望専攻名の口を■に塗りつぶしてください。受検の際に選択した専攻が、入学後の専攻となります。（入学後の変更はできません。）

イ　次の表にしたがって、受検者が選択した事項を入学願書の所定の欄に記入し、選択した曲について楽譜を提出してください。

	推薦入学者選抜時		一般入学者選抜時	
	入学願書へ記入する事項	楽譜を提出する曲	入学願書へ記入する事項	楽譜を提出する曲
声楽専攻	課題(1)(2)について曲名	課題(1)(2)で選択した曲	選択した曲名	選択した曲
ピアノ専攻	課題(2)について作曲者名・曲名（ソナタについては楽章）	課題(2)で選択した曲	作曲者名・曲名（ソナタについては楽章）	選択した曲
管弦打楽器専攻	受検・選択する楽器名 課題(2)について作曲者名・曲名	課題(2)で選択した曲	受検・選択する楽器名 作曲者名・曲名	選択した曲
作曲専攻	課題(2)について曲名	課題(2)で選択した曲	記入事項なし	提出なし

＜楽譜の提出の仕方＞

① **22ページ（推薦選抜）・23ページ（一般選抜）の楽譜表紙をコピーし、必要事項を記入して提出する全ての楽譜の表紙にしてください。Ａ４判縦置きに統一した楽譜を１曲につき４部**それぞれ左上を一箇所ホッチキスで留めて提出してください。また、楽譜は書き込みのないものを提出してください。

② 一般入学者選抜を再受検する者は、推薦入学者選抜時と同一曲を演奏する場合であっても、楽譜を再提出してください。

（2）選抜当日の練習について

推薦入学者選抜・一般入学者選抜どちらの場合も、当日、専攻別課題の検査の前に一定の練習時間を設けます。

（3）携行品

ア　ピアノ、コントラバス、ハープ、小太鼓、マリンバ以外の楽器で受検する者は、各自、楽器を持参してください。

イ　打楽器で受検する者は、推薦入学者選抜時はスティック（小太鼓用）とマレット（マリンバ用）の**両方が必要です。**一般入学者選抜時は、選択した楽器に合わせて持参してください。

ウ　作曲で受検する者は、筆記用具を持参してください。

美術科（推薦入学者選抜、一般入学者選抜）

推薦入学者選抜検査			一般入学者選抜検査		
課題	時間	内　　容	課題	時間	内　　容
(1)	50分	**作文**	(1)	110分	**素描** 当日与えられたモチーフを鉛筆で描写する。 ［四つ切り画用紙（38.2cm×54.2cm）に鉛筆で描写する］
(2)	110分	**素描** 当日与えられたモチーフを鉛筆で描写する。 ［四つ切り画用紙（38.2cm×54.2cm ）に鉛筆で描写する］			

美術科

※　美術科志願者への携行品に関する注意

（１）作文に必要な筆記用具を持参してください。作文用紙は本校で準備します。

（２）素描に必要な画用紙、画板、鉛筆、消しゴム等は本校で準備します。

※　素描を行う際は、受検者が持ち込んだ道具を使用することはできません。

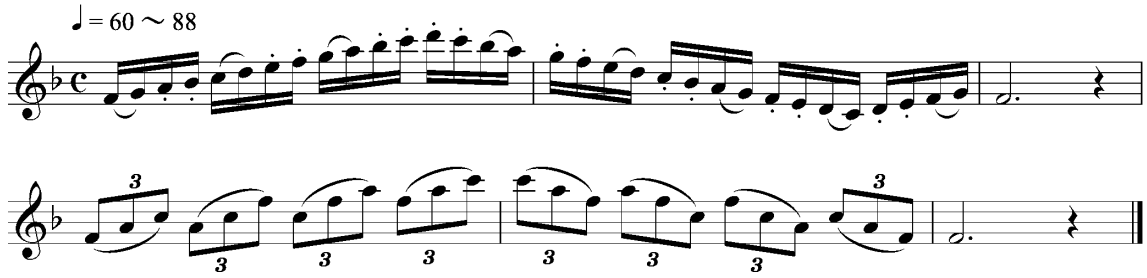
音楽科別表

専攻別課題 器楽（管弦楽器） 課題（1）

フルート



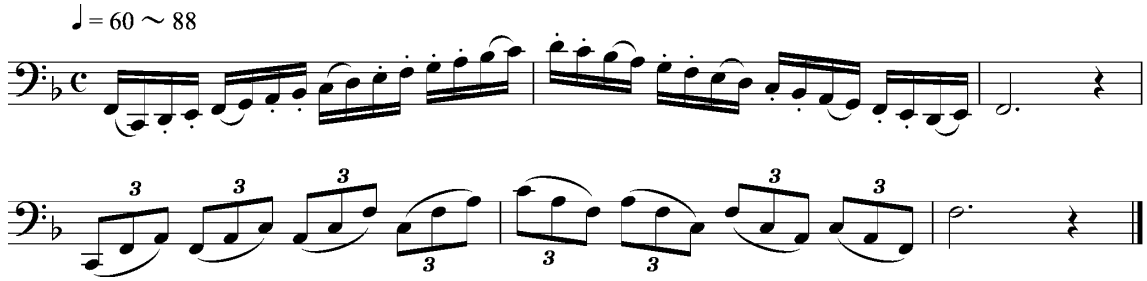
オーボエ



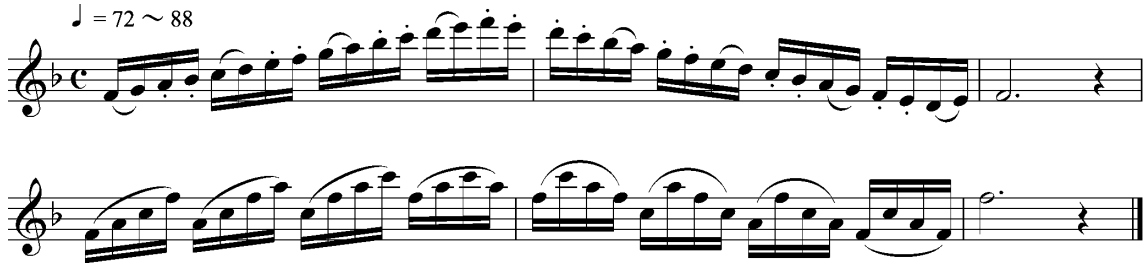
クラリネット



ファゴット



サクソフォン



ホルン（in F）



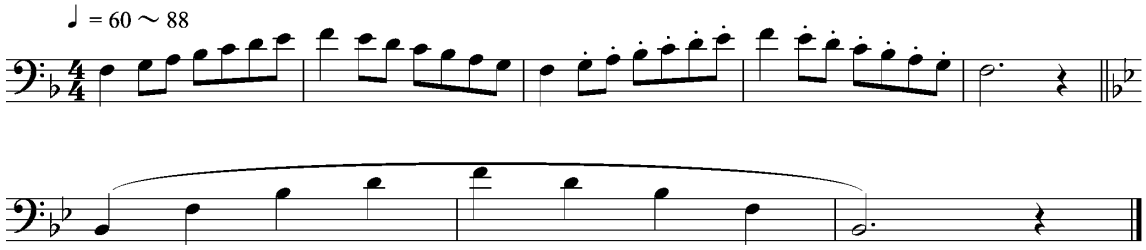
トランペット



トロンボーン



ユーフォニアム



チューバ



弦楽器における共通注意事項

・スラーは次のア、イ、ウのいずれかで演奏する。

ア　16音一弓で演奏

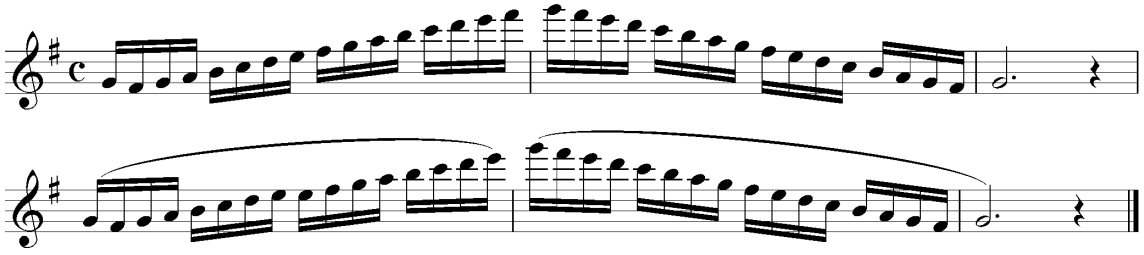
イ　８音一弓で演奏

ウ　４音一弓で演奏

・テンポと運指（フィンガリング）は自由とする。

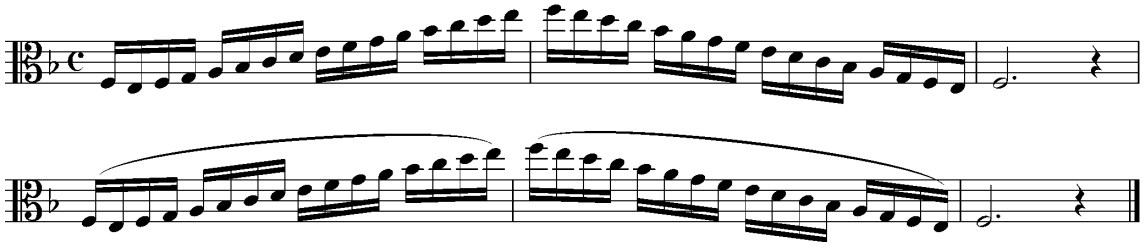
ヴァイオリン

※　2小節間はデタシェで演奏すること



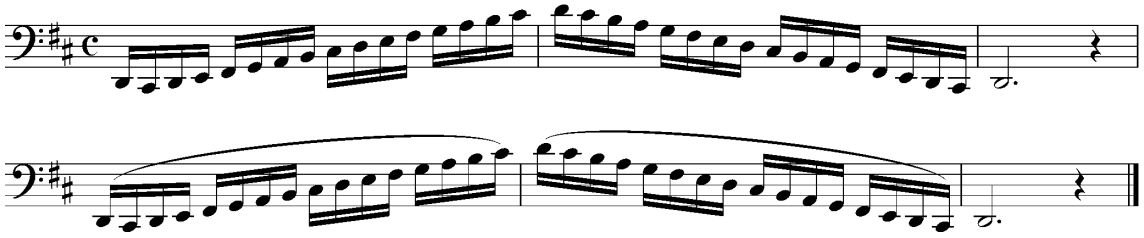
ヴィオラ

※　2小節間はデタシェで演奏すること



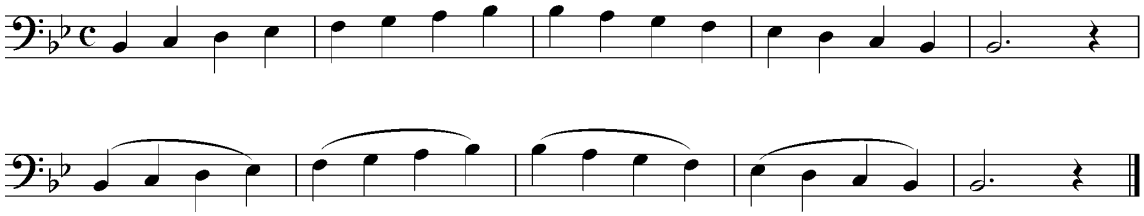
チェロ

※　2小節間はデタシェで演奏すること



コントラバス

※　4小節間はデタシェで演奏すること

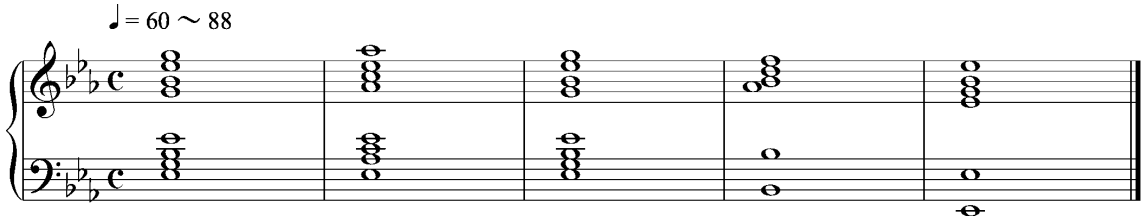


ハープ

※　すべて演奏すること



※　1回目は和音、2回目はアルペジオ



クラシックギター

※　ポジション2で始めること。テンポは任意で可。

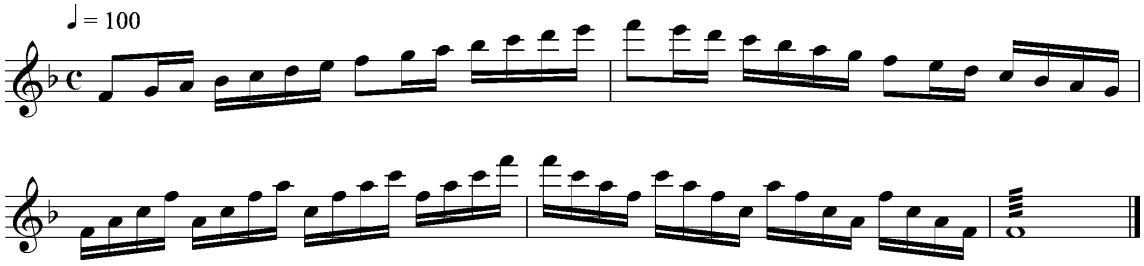


専攻別課題 器楽（打楽器） 課題（1）

（ア）　小太鼓



（イ）　マリンバ



専攻別課題 作曲 課題（1）

テーマ例



共通

5 入学までの手続き

（1） 中学校の先生方へのお願い

入学者選抜に関する諸手続きを進めるにあたっては、この募集要項とともに、「令和９年度鹿児島県公立高等学校入学者選抜実施要綱」をご覧ください。

本校では、受検者に配付するものとして、次のものを準備しています。以下のア～エを確認の上、請求してください。

- ロ　令和９年度　学校案内
- ロ　推薦入学者選抜用入学願書（「推薦書」・「志望理由書」・「入学確約書」は本校ホームページよりダウンロードすることも可能です。）
- ロ 一般入学者選抜用入学願書

ア　「学校案内」は、１校あたり４冊までとさせていただきます。
（※　松陽高校の教育活動については、「学校案内」のほか、ホームページも御覧ください。）

イ　生徒募集要項は、本校ホームページよりダウンロードの上、入学願書と併せて受検者へ配付するなどしてください。

ウ　入学願書については、12 月中旬から、推薦入学者選抜用・一般入学者選抜用のいずれも送付可能です。

エ　**請求については、以下の点について御協力ください。**

①　直接来校による請求について
21 ページの「出願書類等請求用紙」をコピーの上、必要部数等を明記し、原則として、前日までにFAX(099-278-1838)してください。

②　郵送での請求について
21 ページの「出願書類等請求用紙」をコピーの上、必要部数等を明記し、**所要の金額の返送用切手を同封し**、郵送(〒899-2702 鹿児島市福山町 573 番地)してください。返送用切手が不足等する場合、返送いたしかねますので同封漏れ等がないよう十分注意してください。
（「出願書類等請求用紙」の「３　郵送で請求される場合」を要参照）
なお、返送用封筒は本校で準備するので同封する必要はありません。

※　21 ページの「出願書類等請求用紙」は、本校ホームページよりダウンロードすることも可能です。

（2） 推薦入学者選抜出願時の留意点

ア　出願者は、推薦入学志願者の出願資格の要件を満たしている者に限ります。

イ　推薦入学願書の提出は、普通科のコース推薦（体育コース・書道コース・英語コース）及び普通科の一般推薦、音楽科、美術科のいずれか一つに限ります。学科・コースの併願はできません。

ウ　推薦入学志願者は、本校の定める入学願書及び受検票に必要事項を記入し、中学校長に提出してください。

エ　入学検定料として 2,200 円を電子申請システム（オンライン納付）により申請を行い、クレジットカード決済により入学検定料を納付後、納付完了通知書を出力し、入学願書に添付してください。
※　やむを得ない理由により、オンライン納付ができない場合は、納入通知書による納付とします（鹿児島県納入通知書兼領収証書を入学検定料貼付台紙（県様式）に貼付し、入学願書に添付してください）。また、鹿児島県収入証紙による納付も可とします（入学願書の所定欄に貼付してください）。詳細は、「令和９年度鹿児島県公立高等学校入学者選抜実施要綱」を参照ください）。

オ　中学校長は、推薦入学志願に必要な次の書類を、期間内に本校校長宛て提出してください（郵送による出願の場合は、簡易書留・速達で送付してください）。

【提出書類等】**令和９年１月19日(火)～１月25日(月)正午必着**（受付時間は，締切日を除き、平日の午前8時30分から午後4時30分まで）

- □　推薦入学願書（本校所定の様式で、左上に「学校推薦」又は「自己推薦」と朱書されたもの）
- □　入学検定料の納付を確認できるもの（納付完了通知書、鹿児島県納入通知書兼領収証書、鹿児島県収入証紙のいずれか）
- □　推薦入学者選抜出願者総括表（県様式）
- □　推薦書（本校所定の様式…ホームページ上にも掲載、様式はコピー可）（学校推薦方式のみ）
- □　志望理由書（本校所定の様式…ホームページ上にも掲載、様式はコピー可）（自己推薦方式のみ）
- □　調査書（県様式…実施要綱記載の「調査書の作成」による）
- □　顔写真（各中学校から本校への出願者がすべての学科の中で１人の場合、中学校を卒業している場合）
  （白黒・カラーいずれも可、縦４cm×横３cm、裏面に氏名・中学校名・受検学科を明記）
- □　音楽科受検者は、指定した楽譜を１曲につき４部（８ページ「音楽科志願者への注意」を参照）
- □　普通科体育コース受検者は、体力テスト結果表の写しを２部（５ページ「体育コース表中の※」を参照）
- □　郵送による出願の場合は、受検票返送用切手（760円分…簡易書留・速達で返送します。封筒は不要）
- □　自己申告書（県様式）※　提出は任意ですが、特別な理由等により年間の欠席日数が30日以上の志願者が対象です。

※　賞状のコピー等の提出は不要です。

カ　入学願書を受理した者には、中学校長を経て、推薦入学者選抜受検票を交付します。
※　提出された書類に事実に反する記載があった場合、入学許可を取り消すことがあります。

（３）　推薦入学者選抜の結果の通知及びその後の手続き

ア　推薦入学者の選抜結果については、**令和９年２月８日(月)**に中学校長宛て電話で連絡するとともに、以下の書類を送付します。受検者個人宛ての書類につきましては、受検者本人にお渡しください。

- □　「推薦入学者選抜結果通知書」（中学校別一覧）
- □　「推薦入学許可予定通知書」（入学予定者個人宛て）
- □　「入学確約書」（同　上）
- □　「合格者集合案内書」（同　上）
- □　下宿案内（同　上）
- □　「再受検手続きの案内」（該当する中学校宛て）

イ　推薦入学許可予定者は、「入学確約書」に必要事項を記入の上、**令和９年２月12日(金)正午**までに本校校長宛て、持参又は郵送にて提出してください。

※　「入学確約書」は県教育委員会のホームページ又は本校ホームページからダウンロードして使用することも可能です。

ウ　推薦入学許可予定者は、原則として、高等学校入学者選抜学力検査を受検することはできません。

エ　推薦入学許可予定者の合格発表は、一般入学者選抜の合格者とあわせて、**令和９年３月12日(金)午前11時以後**に行います。

オ　合格者は、**令和９年３月15日(月)**に保護者同伴で本校体育館に集合してください。**午前９時15分**から出席点呼を行います。（18ページ「（７）　合格発表及びその後の日程等」を参照）

（４）　推薦入学者選抜で不合格となった場合の再受検手続き

推薦入学者選抜で不合格となり、一般入学者選抜を受検する場合は、以下の手続きをとってください。

ア　中学校長を通じて推薦入学者選抜時の受検票を出願期間内に提出し、改めて受検票（一般入学者選抜用）の交付を受けてください。

（受検票とともに、 17 ページ「（５） 一般入学者選抜出願時の留意点」にある【提出書類等】のうち「入学願書」・「調査書」以外の書類を提出してください。なお、入学検定料の納入は不要です。）

※　この手続きにより、推薦入学者選抜時と同一学科に専願(第２希望なし)で出願したことになります。

イ　下記の①～③のいずれかに該当する場合は、前記アの手続きをとった上で、所定の手続き[出願変更] をとってください。([出願変更]の手続きについては、18 ページ「（６） 出願変更の手続き」を参照してください。）

①　本校内で、他の学科を志願する場合。

②　本校内で、学科併願（「第２希望」を追加）する場合。

③　他校を志願する場合。

※　上記③の場合は、出願変更によって新たに出願する高等学校に入学検定料を納入する必要があります。

※　普通科への出願変更、又は普通科の学科併願にあたっては、「鹿児島県立高等学校通学区域に関する規則」に留意してください。

（５） 一般入学者選抜出願時の留意点

ア　入学願書の提出は、普通科・音楽科・美術科のいずれか一つの学科に限ります。
ただし、以下の形で、併願が可能です。

		第２希望とすることができる学科
普通科の志願者	→	音楽科または美術科のいずれか
音楽科の志願者	→	普　通　科
美術科の志願者	→	普　通　科

※　併願を希望する場合は、出願時に入学願書の所定欄に必要事項を記入して提出してください。

※　第１希望・第２希望を問わず、音楽科・美術科を希望する場合は、それぞれの学科の実技検査を受検しなければなりません。（６～９ページを参照）

イ　入学志願者は、本校の定める入学願書及び受検票に必要事項を記入し、在学している中学校、又は卒業した中学校の校長(以下「出身中学校長」という。)に提出して出願の手続きを行ってください。

ウ　入学検定料については、15 ページ「（２） 推薦入学者選抜出願時の留意点」のエを参照してください。

エ　出身中学校長は、入学志願に必要な次の書類を出願期間内に本校校長宛て提出してください。なお、本校再受検者の扱いについては、16 ページ「（４） 推薦入学者選抜で不合格となった場合の再受検手続き」を参照してください。

【提出書類等】令和９年２月４日(木)～２月 10 日(水)正午必着 (受付時間は, 締切日を除き、平日の午前8時30分から午後4時30分まで)

- □　入学願書（本校所定の様式に出願者本人が記入したもの）
- □　入学検定料の納付を確認できるもの（納付完了通知書、鹿児島県納入通知書兼領収証書、鹿児島県収入証紙のいずれか）
- □　一般入学者選抜出願者総括表（県様式）
- □　調査書（県様式…実施要綱記載の「調査書の作成」による）
- □　顔写真（各中学校から本校への出願者がすべての学科の中で１人の場合及び過年度卒業者）
  （白黒・カラーいずれも可、縦４cm×横３cm、裏面に氏名・中学校名・受検学科を明記）
- □　音楽科受検者は、指定した楽譜を１曲につき４部(８ページ「音楽科志願者への注意」を参照）
- □　郵送による出願の場合は、受検票返送用封筒（長形３号に宛先と切手貼付。簡易書留・速達で返送します。）※　切手代　17 人まで 760 円、18～37 人 830 円、38～57 人 920 円
- □　自己申告書（県様式）※　提出は任意ですが、特別な理由等により年間の欠席日数が 30 日以上の志願者が対象です。

※　賞状のコピー等の提出は不要です。

オ　入学願書を受理した者には、出身中学校長を経て、受検票を交付します。

※　提出された書類に事実と相違する記載があった場合、入学許可を取り消すことがあります。

（６） 出願変更の手続き

ア　本校に出願後、他校に出願変更する場合

他校への出願変更を希望する場合、出身中学校長は、「入学志願変更願（県様式）」及び交付を受けた「受検票」を**出願変更期間内**に提出してください。「入学志願変更願」に受理証明をして返却します。（「受検票」は返却しません。）

その後の手続きは、新たに出願する学校の指示に従ってください。

なお、本校の推薦入学者選抜で不合格となって、他校の一般入学者選抜を受検する場合もこの手続きが必要となります。（他校に出願する際に、所定の検定料を納入してください。）

イ　他校に出願後、本校に出願変更する場合

他校から本校に出願変更する場合は、先に出願した高校の受理証明済みの「入学志願変更願（県様式）」のほか、17 ページ「（５） 一般入学者選抜出願時の留意点」に記載されている【提出書類等】を出願変更期間内に提出してください。「入学志願変更願（県様式）」の扱い以外は、基本的に一般入学者選抜出願と同じ手続きとなります。

なお、他校の推薦入学者選抜で不合格となって、本校の一般入学者選抜を受検する場合もこの手続きが必要となります。（本校に出願変更する際に、所定の検定料を納入し、入学検定料の納付を確認できるものを添付、もしくは、貼付してください。）

ウ　本校に出願後、本校の他学科に出願変更する場合

上記の「ア」・「イ」の手続きをいずれも本校で行ってください。

第２志望の学科のみを変更する際も出願変更の手続きが必要になります。ただし、この場合は、「入学志願変更願（県様式）」及び入学願書のみ提出することもできます。

※　出願変更期間　令和９年２月 15 日(月)～２月 19 日(金)正午必着

（受付時間は，締切日を除き、平日の午前８時 30 分から午後４時 30 分まで）

※　上記ア～ウ、いずれの場合も、出願変更の際には、当初の出願時に提出された書類はすべて返却されません。また、出願変更時には、当初の出願時と内容に変化がない場合も、17 ページ「（５） 一般入学者選抜時の留意点」にある「提出書類等」をすべて提出する必要があります。

（７） 合格者発表及びその後の日程等

ア　合格者の発表は、**令和９年３月 12 日(金)午前 11 時**以後に行います。

イ　合格者集合日は、**令和９年３月 15 日(月)**ですので、保護者同伴で本校体育館に集合してください。

①　**午前９時 15 分から出席点呼を行います。**終了は午後１時頃の予定です。

②　受検票・筆記用具・上履き・靴入れ袋（保護者とも）を必ず持参してください。

③　できるだけ公共交通機関を利用してください。

※　入学学力検査当日に案内プリントを配付しますので、詳細はそちらを参照してください。

ウ　入学式は、**令和９年４月８日(木)午前 10 時から**の予定です。生徒玄関前等に掲示する学級編成表で自分のクラスを確認の上、**午前９時 15 分までに各教室に集合**してください。

※　入学式の詳細は、合格者集合時に連絡します。

6 入学願書の記入要領

（1）入学願書の様式

本校入学願書は、普通科(白色)・音楽科(黄色)・美術科(水色)について、それぞれ推薦入学者選抜(学校推薦方式)用・推薦入学者選抜(自己推薦方式)用・一般入学者選抜用があり、あわせて９種類あります。

※　出願書類等により志願者から提出された個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」(個人情報保護法)に則り、本校入学者選抜・合格発表、追跡調査及びこれらに付随する事項並びに入学後の業務における学籍・成績管理、学習指導等を行うためにのみ利用し、他の目的には利用しません。

（2）記入上の注意

ア　推薦入学者選抜用・一般入学者選抜用共通

①　入学願書は受検票部分を切り離さないで提出してください。切り取り線のほかに折り目を付けないでください。

②　黒のペンを用い、受検者が正確に書いてください。ただし、保護者氏名・住所と中学校名・校長名についてはその限りではありません。

③　数字は算用数字を、ふりがなはひらがなを用いてください。

④　間違いは２本線を引いた上で訂正してください。修正液等は使用しないでください。

⑤　氏名・住所は、住民票のとおりに記入してください。

⑥　受検番号は、記入しないでください。

※　収入証紙で入学検定料を納付する場合は、所定の欄に必ず貼付してください。

イ　推薦入学者選抜用の入学願書について

①　普通科の志願者は、志願する推薦区分を一つ選び、□を■に塗りつぶしてください。

②　普通科の体育コース志願者は、選択種目を一つ選び、□を■に塗りつぶしてください。

※　陸上競技については、実技検査で行う種目を下記から一つ選び、入学願書の所定欄に記入すること。

100m、200m、400m、800m、1500m、100mH、110mH
走高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投

③　普通科の一般推薦志願者（学校推薦方式のみ）は、出願する分野を一つ選び、□を■に塗りつぶしてください。
（「スポーツ活動」・「文化活動」・「特定の教科」・「その他」の分野での志願者は、種目名・教科名など、その具体的内容を所定欄に記入すること）

④　音楽科の志願者は、専攻別課題で選択した曲名等について、８ページの指示に従って所定欄に必要事項を記入してください。

⑤　自己推薦方式での志願者は、中学校欄の卒業・卒業見込みの項目のいずれかを〇で囲んでください。

ウ　一般入学者選抜用の入学願書について

①　中学校欄の卒業・卒業見込みの項目は、いずれかを〇で囲んでください。

②　第２希望記入欄は、必ずいずれかを選択し、□を■に塗りつぶしてください。

③　音楽科の志願者（併願者を含む）は、専攻別課題で選択した曲名等について、８ページの指示に従って所定欄に必要事項を記入してください。

7 選抜当日の留意事項

	推薦入学者選抜	一般入学者選抜
検査期日	令和９年２月２日（火）	令和９年３月３日(水) ３月４日(木)
会場	鹿児島県立松陽高等学校	鹿児島県立松陽高等学校
集合	９：００　本校武道館	第１日目９：２０　各検査会場前（当日掲示） 第２日目９：２０　各検査会場前
日程	９：００　出席点呼 検査会場へ移動 実技等検査 昼食 個人面接 １６：００　最終面接者終了予定 ※　日程の詳細は、学科・コース等で異なります。また、出願者数によって検査全体に要する時間が変わってきますので、詳細は当日朝連絡します。	第１日目 ９：２０　出席点呼 １０：００～１０：５０　国語（50 分間） １１：１０～１２：００　理科（50 分間） 昼食 １３：００～１３：５０　英語（50 分間） 聞き取りテスト 12 分間程度を含む 第２日目 ９：２０　出席点呼 ９：４０～１０：３０　社会（50 分間） １０：５０～１１：４０　数学（50 分間） 昼食 １３：００～面接・実技等 １６：００　終了予定 ※　日程の詳細は、学科等で異なります。また、出願者数によって検査全体に要する時間が変わってきますので、詳細は当日朝連絡します。
携行品	□　受検票 □　筆記用具（鉛筆（シャープペンシルも可）・消しゴム） □　上履き □　靴入れ袋 □　昼食 □　実技検査に必要なもの	□　受検票 □　筆記用具（鉛筆（シャープペンシルも可）・消しゴム） □　上履き □　靴入れ袋 □　昼食 □　実技検査に必要なもの （音楽科・美術科） ※　検査場に携行できる用具は次のとおり。 鉛筆(シャープペンシルも可）、消しゴム、鉛筆けずり、三角定規、直定規、コンパス
受検者への注意	（１）受検票を忘れた者は、事務室に届け、再発行の手続きをとること。 （２）**弁当などの携行品は各自持ってくること。**集合時から検査終了時まで終日、受検者は引率者・保護者と面会できません。 （３）検査上の注意は、当日朝、集合時に行います。 （４）「筆記用具」については以下のとおりとします。 ○　鉛筆は、格言や英語等の文言が印字されていないものに限る。(シャープペンシルも同様) ○　消しゴム等はカバーをはずすこと。 ○　定規は角度を測る機能のないものに限る。 （５）**昼食は全員準備してくること。** 推薦入学者選抜については、受検者の人数によっては検査が午前中に終了する場合もあります。(検査が早めに終わった場合の昼食場所は準備します。) 一般入学者選抜については、２日間とも必ず昼食の準備をしてくること。 （６）検査会場に時計は設置していません。アラーム付きの時計を携行する者は、アラームが鳴らないようにしておくこと。 （大型の置き時計等、検査実施上公正を欠くと判断されるものは持ち込みを制限する場合があります。） （７）**携帯電話・スマートフォン等（ウェアラブル端末を含む。）の持ち込みは禁止します。**	
引率者並びに保護者へのお願い	（１）遠方からの引率の方に控え室を用意します。場所は当日お知らせします。 （２）**全体集合会場並びに各検査場(推薦入学者選抜時はグラウンドを含む。)周辺への立入りは禁止します。** （３）原則として集合時から面接終了まで受検者と面会できません。また、**受検者への個々の連絡は受け付けません。**	

令和９年度　松陽高等学校　入学者選抜用　出願書類等　請求用紙

以下の受検者用の各様式を請求する場合は、このページをコピーの上、必要事項を記入して本校まで提出してください。(15 ページ「(１)　中学校の先生方へのお願い」をお読みください。)

※　原則として、郵送か直接来校の上、請求してください。

※　来校する場合、本紙を記入の上、原則として前日までに FAX（099-278-1838）してください。

１　請求書(□内を記入　□はレ印でチェックしてください。)

請　求		区　分	郵送での返送先中学校住所	受　付	
中学校名		□ 来 校 □ 郵 送	〒	担当	
請求者名				送付	
申 込 日	月　日(　)				

２　請求内容

	様　式　名　等		申 込 数	郵送の場合の確認欄		
				１部	申込分	大きさ
1	推薦入学者選抜(学校推薦方式)用入学願書	普通科用（白色）		20g		A４判
2	推薦入学者選抜(学校推薦方式)用入学願書	音楽科用（黄色）				
3	推薦入学者選抜(学校推薦方式)用入学願書	美術科用（水色）				
4	推薦入学者選抜(自己推薦方式)用入学願書	普通科用（白色）		20g		
5	推薦入学者選抜(自己推薦方式)用入学願書	音楽科用（黄色）				
6	推薦入学者選抜(自己推薦方式)用入学願書	美術科用（水色）				
7	一般入学者選抜用入学願書	普通科用（白色）		15g		
8	一般入学者選抜用入学願書	音楽科用（黄色）				
9	一般入学者選抜用入学願書	美術科用（水色）				
10	令和８年度版　学校案内			70g		
郵送	返送用封筒及び同封する公文・台紙等の重さ			40g		
	返送内容　総重量（郵送での返送を求める場合は必ず計算してください。）			g		

(１) １～９の入学願書を請求する際は、生徒募集要項を本校ＨＰからダウンロードの上、入学願書と併せて受検者へ配付してください。

(２) １～６の推薦入学者選抜用の入学願書については、推薦書又は志望理由書・入学確約書も併せて送付します。

(３) 10 については冊数に限りがありますので、１校４冊までとさせていただきます。

３　郵送で請求される場合

(１) 前項の表で、返送内容の総重量を確認してください。

(２) 次の表を用いて返送用の切手代を計算し切手を同封(表中の口にレ印でチェックしてください。チェックにしたがって返送します。できるだけ簡易書留・速達分の切手を同封してください。)するか、レターパック（赤色）を同封（総重量４kg 以下の場合のみとします。）してください。

返送内容総重量	定形外郵便料金	速達料金	簡易書留料金	返送用切手合計	本校受付確認欄
□　～　100g	180 円	□　300 円	簡易書留 □　350 円 書留 □　480 円	□ 円分 の切手を同封してあります。	
□　～　150g	270 円				
□　～　250g	320 円				
□　～　500g	510 円	□　400 円			
□　～ 1000g	750 円				
□　～ 2000g	1350 円	□　690 円			

※ 推薦入学者選抜
音楽科用

受検番号	

令和９年度 鹿児島県立松陽高等学校推薦入学者選抜

楽　　譜　　表　　紙

出身中学校	
氏　　名	

	専　攻　名		作曲者名・曲名・楽器名	
声楽	□ 声楽	課題(1)	□ サンタ　ルチア	
			□ 夏の思い出	
		課題(2)	作 曲 者 名	
			曲　　名	
器楽	□ ピアノ課題(2)		作 曲 者 名	
			曲名(楽章)	（第　　楽章）
	□ 管弦打楽器課題(2)		楽　器　名	
			作 曲 者 名	
			曲　　名	
作曲	□ 作曲課題(2)		曲　　名	二声のインヴェンションの（　　）番

＊ このページをコピーの上、該当する□を■に塗りつぶし、必要事項を記入して提出する楽譜の表紙としてください。
＊ 楽譜は、Ａ４判縦置きに統一したものを１曲につき４部提出してください。（８ページ参照）
＊ 楽譜は、**書き込みのないものを提出**してください。

※ 一般入学者選抜
音楽科用

受検番号	

令和９年度 鹿児島県立松陽高等学校一般入学者選抜

楽　　譜　　表　　紙

出身中学校	
氏　　名	

	専　攻　名	作曲者名・曲名・楽器名	
声楽	□ 声　　楽	作曲者名	
		曲　　名	
器楽	□ ピ　ア　ノ	作曲者名	
		曲名(楽章)	（第　　楽章）
	□ 管弦打楽器	楽　器　名	
		作曲者名	
		曲　　名	

＊ このページをコピーの上、該当する□を■に塗りつぶし、必要事項を記入して提出する楽譜の表紙としてください。
＊ 楽譜は、Ａ４判縦置きに統一したものを１曲につき４部提出してください。（８ページ参照）
＊ 楽譜は、**書き込みのないものを提出**してください。

鹿児島県立松陽高等学校
〒899－2702
鹿児島市福山町５７３番地
Tel　０９９－２７８－３９８６
Fax　０９９－２７８－１８３８
https://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/shoyo/
問い合わせ窓口　教頭・教務
出願等受付窓口　事務室